

令和3年度 長野地域「地域発 元気づくり支援」実施事業 検証一覧

番号	事業名	事業主体	事業内容 (①ソフト事業、②ハード事業)	総事業費 (千円)	支援金 交付額 (千円)	講評
<b>1 地域協働の推進に関する事業</b>						
1	松川河川敷 東日本 台風災害からの復興 の推進	旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクト (須坂市)	令和元年東日本台風災害により一部損壊した松川河川敷の「松川四季の道」の復興を図るべく、地域住民が一体となり清掃・草刈り作業等の原状回復や、小学校児童と協働したアヤメや水仙の植付を行う。あわせて、講演会や自然勉強会の開催を実施するほか、ボランティア活動を次世代に継承するための体制づくりのための備品を整備する。 ①講師謝礼、球根購入費、看板製作費、印刷費等 ②備品購入費	1,077	801	子どもたちとともに花の植えつけ等の景観整備や地域の勉強会を行ったり、地域活動継続のための体制整備を進めたりすることで、住民らの地域愛の醸成や地域活性化に大いに寄与したと史料される。行政だけでは進めきれない台風被害からの復興について、地域で自主的かつ積極的に取り組んでおり、今後の活動にも期待したい。
2	農道協働整備事業	千曲市	農地の高度利用促進と住民と行政が共に手を携えたまちづくりを進めるため、行政が原材料、重機を手配し、住民が労力を提供し、道路の舗装を行う。 ②原材料費（生コン、ワイヤーメッシュ）、重機借上費	4,977	2,363	段差や大石が多い農道を整備することで、多くの住民にとって農道の利便性が向上したと史料される。また、住民自らの手で作業することを続けたことで、協働によるまちづくりの推進や意識向上にもつながったと考えられる。
3	地域のみちづくり支援事業	坂城町	町が原材料を支給し、地域住民が生活道路としても利用する農道・林道の整備を行う。 ②原材料費（生コン、砕石、ワイヤーメッシュ等）、重機借上料	3,484	1,729	なんでも行政頼みでなく、要望者（住民）自らも汗を流すことにより、公民協働の町づくりに向けての活動となっている。本年度は、3路線実施し、地域づくりに対する自主的な活動への意識がうかがえる。
4	よろずぶしん事業	小布施町	住民と行政が一体となった活力ある協働の町づくりを進めるため、行政が原材料の支給、職員の派遣による技術的助言のもと、住民が道路、水路の整備を行う。 ②原材料費（グレーチング蓋）	3,082	1,356	地域の役員さんの出労により地域住民自らが作業を行うことで、地域協働性の向上とコストの削減、住民と行政が一体となった安全で安心な活力ある協働のまちづくりに寄与することが出来た。
5	おてんま支援事業	高山村	住民と行政が一体となった活力ある協働の村づくりを進めるため、行政が原材料の支給、職員の派遣による技術的助言のもと、住民が道路、水路の整備を行う。 ②原材料費（砕石、グレーチング等）	1,467	978	地域づくりへの積極的な参加を図り、住民と行政が一体となった活力ある協働の村づくりへの効果が得られた。
6	住民主体のみち直し事業	信濃町	住民協働のみちづくりの推進と農業生産の向上のため、町の原材料支給と地元住民の労務提供により、町道を維持修繕する。 ②原材料費（砕石、生コン、U字溝蓋、グレーチング蓋）	1,795	964	12地区で延べ352名が参加しており、地域住民等が協働し自ら施工することで地域コミュニティの強化が促進されたと考えられる。
7	原材料支給事業	飯綱町	地域協働によるまちづくりを推進するため、町が原材料を支給し、地元住民が労務を提供して道路の維持補修工事などを行う。 ②原材料費（生コン）	4,428	2,894	12地区で延べ352名が参加しており、地域住民等が協働し自ら施工することで地域コミュニティの強化が促進されたと考えられる。
8	みんなで道こせ事業	小川村	公民協働のみちづくりの推進と、住民生活の利便性向上のため、行政の資材提供と住民の労務提供により道路の整備を行う。 ②原材料費（生コン、鉄鋼）	5,244	2,894	要望者（住民）自らも汗を流すことにより、公民協働のみちづくりに向けての活動となっている。本年度は、8地区で実施し、延べ動員数210人の住民参加があり、地域づくりに対する自主的な活動への意識の高揚がうかがえた。
<b>2 保健、医療、福祉の充実に関する事業</b>						
9	みんなで不安・悩み 解消「オンライン子育て サロン@ながの」	ゆめサボママ@ながの (長野市)	自宅にいながら子育て相談や様々な講座への参加を可能にする「オンライン子育てサロン」を開催し、コロナ禍で外出が難しい状況下であっても母親同士が気軽につながり、情報入手ができる環境を整備する事業。実施に当たってはSNSを活用した広報等もあわせて実施する。 ①システム構築委託費、印刷費、広告宣伝費等	2,816	1,392	オンラインを媒体に、多種多様な講座を開催し、講師と参加者との双方向のやり取りや参加者同士との交流が生まれ、子育て世代のネットワークづくりに寄与した。コロナ禍の長期化も踏まえ、今後も継続的な活動が望まれる。メディアからの取材を通じて広く活動を伝えることができた。
10	困難さを有する子ども・若者が野外活動 などを通し豊かな心を 育む事業	一般社団法人 信州親子塾 (長野市)	困難さを有する子どもや若者たちの受け入れを行うとともに、保護者が安心して相談できる居場所づくりを行う事業。また、子どもたちが身近な自然環境や地域の人々の支援力によって豊かな心を育むことを目的として、キャンプやバーベキュー、農業体験、調理活動事業等も実施する。 ①備品購入費、バス等借上料、燃料費 ②備品購入費	609	461	他者との交流に悩みを抱えていた子どもたち、心を閉ざしていた子どもたちが、様々な活動を通じて自発的な交流を促すきっかけづくりに寄与した。また、悩みを抱える親子の居場所づくりを行う等、地域にとって重要な役割を担う事業となった。
11	生鮮食品のフード ドライブ・パントリー 事業	信州子ども食堂 印SDGsプロジェクト (長野市)	フードドライブへの食材提供者や食材支援が必要な個人や子ども食堂等の団体が活用できる冷凍コンテナ及び冷蔵コンテナを設置することで生鮮食品の受け入れと提供を可能にするともに、コンテナ内の食材がリアルタイムで分かるWEBシステムを合わせて整備することで活用者の利便性向上を図り、地域の助け合い促進とフードロスの軽減を促進する。また、コンテナを活用したフードドライブやフードパントリーも開催する。 ①WEBシステム構築費、コンテナレンタル費	6,144	3,996	冷凍食品を受け入れ可能な大型冷凍コンテナを設置したことにより、他地域で受け入れのできない寄付食品等も集めることができ、フードドライブの開催やフードロスの削減だけでなく長野地域における子ども食堂のプラットフォーム的に活躍した。長野地域の子ども食堂活動の活性化及び発展に大きく寄与したといえる。
12	「食から健康づくり」 高齢者のフレイル 予防事業	公益財団法人 長野県栄養士会 (長野市)	「高齢者のお手軽料理集」を作成し、高齢者と日常的に接する介護支援専門員や介護福祉士等に配布・研修会を実施することで、高齢者のフレイル予防を推進する。また、高齢者に向けた食生活講座の開催や、料理集の配布、HPでのレシピ発信もあわせて行うことで、レシピが広く活用されるよう情報発信する。 ①料理集印刷費、会場使用料、ホームページ掲載費等	1,648	1,028	新型コロナウイルス感染症の影響により外出が減少しフレイルが加速する高齢者に向けてまさに今必要な対策を、経験や工夫を活かして講じていた。継続的にフレイル予防に特化したレシピ集を高齢者や介護従事者に普及していくことで、食生活の適正化に寄与できると考えられる。
13	長野地域における里 親等推進事業	長野県里親支援 専門相談員 北信地区連絡会 (長野市)	里親制度への理解を深めることを目的に、地域住民、行政関係者、学生らと勉強会、意見交換や検討を行いながら里親制度の広報動画を作り上げ、その動画をTVO前ビジョンや里親カフェ、各種研修会で放映することで里親制度について広く効果的に発信を図る。 ①動画制作費	495	357	動画の制作を行い、コロナ禍であってもオンラインやDVDの貸し出しを通して、地域住民や各団体等が制度について学ぶ機会を創出した。これまでは、制度に興味がある住民への制度周知が中心だったとのことだが、今回の事業を契機に、制度を知らなかった地域住民にも広く周知し理解を深めてもらうことができたと考えられる。
14	地域に広がる農福連 携推進事業	信濃町	障がい者等が就労による社会参加を促進するための農福連携を推進する目的で、モデルほ場での就労試行を実施するほか、地域における農福連携の理解を深める「地域に広げる『農福連携』シンポジウム」を開催する。また、農業者・福祉の双方が相互利益の関係となるよう連携にあたって具体的な手順等を解説した農福連携推進手引きを作成する。 ①講師謝礼、チラシ印刷費、手引き印刷費等	401	300	新型コロナウイルス感染症の影響で一部事業が中止になったものの、モデルほ場での作業体験や農福連携の先進的な取組を行っている福祉関係者等から課題や解決方法を学ぶことで地域住民の理解が深まった。手引きを作成し配布したことにより、農副連携の取組が進んだと考えられる。

番号	事業名	事業主体	事業内容 (①ソフト事業、②ハード事業)	総事業費 (千円)	支援金 交付額 (千円)	講評
<b>3 教育、文化の振興に関する事業</b>						
15	信州藩校サミット	長野市	次世代の地域の担い手となる児童が郷土の歴史やアイデンティティを認識し、愛着と誇りを持ってもらうことを目的に、長野県下にあった藩校につながる学校を集め、各藩校の特色や意義を発表し、地域間・世代間交流を図る藩校サミットを開催する。 ①運営委託費	4,190	3,352	開催した藩校サミットにより、子供たちのふるさとへの誇りと愛着が高まり、参加者が学ぶことの大切さに気づくことに繋がったと史料される。また、複数の地域の藩校に関する発表を各地域の学校が行ったことで、地域間交流の促進が図られた。
16	スポーツ競技力向上と底辺拡大事業2021	公益財団法人長野市スポーツ協会 (長野市)	2028年に開催される国民体育大会に向けてスポーツ競技力の向上やスポーツ人口の増加を図るため、市内の指導者の指導力向上を目的とした「スキルアップ研修会」の開催や、子どもと保護者がプロスポーツチームとの交流を楽しむことでスポーツへの関心を高める「地域密着型プロスポーツチームとの交流」を実施する。 ①シンポジウム講師謝金、チラシ制作費、施設等利用料、選手等派遣料等	993	771	新型コロナウイルス感染症の影響により募集人数を減らして実施となったが、概ね計画通りに実施された。プロチームのスタッフから直接指導を受けたことで、子ども達の意識向上が図られた。また、講演会では、問題解決に向けた具体的な取組方法、一流アスリートが備える人間性など参加した指導者やアスリートの意識向上が図られたと史料される。
17	ふるさと大岡の記憶をみつめて伝える発信事業	長野市大岡地区住民自治協議会 (長野市)	大岡の魅力を伝える民族誌を制作し、その販売や講演会等を通じて地域住民のふるさとへの愛着を育むとともに、地域外にも発信して大岡地区の移住定住・交流人口の増につなげる事業。史料編纂に当たっては地域住民で編集委員会を設置し、連携しながら制作する。 ①講師謝金、民族誌制作費、印刷費等	1,457	1,153	大岡地区の各地区をつぶさに回り、人々の話を聞き、まとめた民族誌を作成し、人々の記憶に残されていた大岡地区の暮らしや生活文化の継承の一助となったほか、その冊子を活用し、幅広い世代にその内容を共有することで、地域活性化に大いに寄与する取組となったと史料される。
18	信更町誌編纂・活用事業	信更地区住民自治協議会 信更町誌編纂委員会 (長野市)	地域の歴史や自然を地域住民自ら調査・執筆した「信更町誌」を刊行し、それを活用した地元小中学校で講義や市民講座を行うほか、刊行記念講演会等を実施する。 ①印刷製本費、講師謝金、印刷費	5,006	933	信更町の歴史を総合的にまとめた壮大な記録誌の制作やその活用により、歴史の伝承や郷土への愛着醸成、地域の学びの深化等が図られた。また、制作の過程においても、住民らが自ら調査し、協働して編纂にあたったことで地域活性化に大いに寄与し、大変意義のある取組みとなったと史料される。
19	文化施設が作る「リトルプレス」(小冊子)による地域間交流及び魅力発信事業	一般財団法人長野市文化芸術振興財団 (長野市)	地域の優れた文化芸術やヒト(人)・コト(事)・マチ(町)を、地域の資源として戦略的に活用し、地域の魅力として情報発信するリトルプレス(小冊子)を、芸術館のスタッフと地域の方が共に企画、編集、発行する。今年度は、実際に出演するアーティストへのインタビューや街歩き取材などを地域の大学生と協働する取組も実施。また、広く地域の文化芸術に関わる資源、魅力を収集・発信するため、長野地域と隣接する上田市交流文化芸術センター(サントミュージゼ)と連携し、各市の市民と共に文化芸術に関わる優れた地域情報を、地域間を横断する形で共同掲載し発信する。 ①冊子デザイン・印刷費、謝金、PCR検査料等	2,335	1,751	リトルプレスの発行を通じて、文化芸術や地域の魅力を広域的に情報発信することができ、概ね計画通りに実施された。紙面作成において、地元大学生に参画してもらうことで、文化芸術等に触れる機会を創出し、関心を高める取組となったと史料される。
20	信州くだもの歴史のまち 川中島ウォーク2021	特定非営利活動法人MHO K (長野市)	ウォーキングを楽しみながら地域住民や子供たちに地域の歴史や文化を学ぶことのできるウォーキング大会を春と秋に開催する。 ①印刷費、救急救護員謝金、備品購入費等	474	314	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、概ね計画通りに実施された。川中島平の歴史や文化を学びながらウォーキングを行うことで、子ども達や参加者が郷土の良さを理解し、楽しみながら地元を知る機会の創出となった。ウォーキングによって参加者の基礎体力の増進や健康長寿に向けた取組につながったと史料される。
21	川中島小学校への陣屋門の復元事業	日新学校(今里郷校)校門を復元する会 (長野市)	明治時代、今里郷校で使われていた旧塩崎陣屋門を長野市立川中島小学校に移転・復元を行う事業。学校や地元住民らとともに清掃や管理を行う地域協働の体制を構築し、門の歴史・文化について小学生に伝える教材の作成等もあわせて実施する。 ①教材制作費等 ②門の解体・修復費	11,568	4,823	多くの地域住民を巻き込みながら歴史的価値のある門を移転することを通して、子どもたちの郷土愛の醸成や地域活性化に大きく寄与したと史料される。また、取組自体が様々なメディアに取り上げられるなど波及効果も大きい。
22	能(謡曲、仕舞)の伝承普及事業	信州新町謡曲連合会 (長野市)	信州新町に伝わる伝説「雉も鳴かずば」を謡曲化し、それを伝える講座や能楽教室を地域住民や子どもたちに向けて行うほか、披露会も開催することで、伝統芸能の振興と地域活性化を図る。 ①講師謝金、謡本の制作、印刷費	886	319	新型コロナウイルス感染症の影響により一部は中止となったが、地域での講座開催や、「雉も鳴かずば」の謡曲化及びお披露目会等を実施し、地域における謡曲・仕舞の普及に寄与したと考えられる。
23	伝統芸能こどもフェスティバル	伝統芸能こどもフェスティバル実行委員会 (長野市)	ジャンルを超えた幅広い伝統芸能継承団体が一同に会し、子どもたちによる発表、展示、体験、指導を行う。子どもたちによる日本舞踊、琴、三味線などのステージは、事前に公募し発表まで練習を重ねることで後継者としての定着を図るとともに、茶道、囲碁、百人一首などの当日参加の体験イベントを開催し、通年にわたり実行委員会のメンバーで個別に学校を訪問することで、伝統芸能に対する興味関心を高める取組もあわせて行う。 ①会場設営費、印刷費、広告宣伝費、会場使用料	3,428	2,421	子どもたちが伝統芸能や芸術文化を自ら体験し発表の場に立つことで、子どもたちやその家族、地域住民らに伝統芸能の素晴らしさを広く伝えるとともに、各団体における今後の人材育成や継承・発展にもつながると史料される。活動が新聞等に取上げられるなど波及効果も大きい。
24	日本一の門前町大縁日	日本一の門前町大縁日実行委員会 (長野市)	令和4年に延期となった善光寺御開帳に向けた街のにぎわいづくりを目的に、諏訪の「御柱祭」と連携したイベントとして善光寺参道まで曳行体験を行う「諏訪御柱曳行体験よいさー」の開催や、長野地域の高校生によるバンドコンテスト「ながの高校バンドフェス」などのほか、長野駅前・幕幕整備など様々なイベントで機運醸成を図る。 ①会場設営費、運営委託費、印刷等 ②幔幕・提灯掲出費等	10,143	6,581	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、善光寺御開帳に向けて市民参加によるイベントの開催を実施することで、各メディア等にも取り上げられるなど、街のにぎわい創出や御開帳に向けた機運醸成に寄与したと考えられる。
25	トランポリン普及事業	須坂市	2028年の長野国体において須坂市がトランポリンの競技会場となったことから、須坂市におけるトランポリンの普及を図るために、トランポリン教室やトランポリンの体験会を実施する。 ①講師謝金、トランポリン購入費、チラシ印刷費 ②備品購入費	1,297	915	コロナ禍における実施となったことから、人数制限を行った上での実施となったが、トランポリン教室やトランポリンの体験会の開催により、競技の普及促進と健康増進が図れた。今後も継続的に体験会の開催や貸出し事業を行うことで競技普及や発展に繋がることが期待される。
26	日本遺産「月の都」の魅力子どもたちに知ってもらおう事業	さらしなルネサンス (千曲市)	日本遺産に制定されたさらしな地域の歴史や文化の理解を地域の子供たちに伝えふるさとを愛する心や誇りを育むため、千曲市内の全小中学校での「さらしな学」出前講座や写真コンテストを実施する。また、出前講座の様子を収めたDVDやコンテスト優秀作品を掲載したクリアファイルを配布することを通して、さらしな学を市内外にも広く周知する。 ①DVD作成費、チラシ等印刷費、コンテスト開催費等	547	410	「さらしな」の歴史や文化について、小中学校での出前授業や写真コンテストを行うことにより、子どもたちの理解を深めることができ、郷土への愛着醸成、地域の学びの深化等が図られた。また講座をDVDに残すことにより、出前授業の実績と内容が引き継がれる体制ができたと思料される。
27	ペットボトルを通して、総合学習の展開と娯楽棚田のシンボル作り。	「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会 (千曲市)	クリーンエネルギー学習教材「ペットボトル」を各小中学校での総合学習の時間に作成してもらい、作成した「ペットボトル」を娯楽の棚田へ設置する。この活動にあわせ、各小中学校で娯楽の棚田に関する郷土学習や、「ペットボトル」の製造企業による作成時に環境関連学習などを行い、地元小学生が娯楽の棚田に対し、より愛着を持っていただけるよう取り組む。 ①「ペットボトル」工作キット購入費、印刷費等 ②看板設置費	3,606	2,851	地域住民が主体となり、小・中・高校生や地元企業なども巻き込み地域全体として環境意識の向上や地域愛を育む取組となった。また、ペットボトルによる娯楽棚田の新たな魅力の発掘や、メディアに取り上げられたことにより地域内外へ情報を発信することができ、地域活性化に大いに寄与した。また、事業の自立的・継続的な実施に向けた活動は、モデル的な取組として大いに評価できる。
28	学びと子どもの居場所づくり	子ども達と未来を考える会 (小布施町)	誰でも集まれる「信州ベース」を拠点として、不登校の子供たちや地域の住民が集い、これからの社会の中で自分たちは何ができるか検討し、語り合う場をつくる事業。地域の人々が先生となる「誰でも先生 誰でも生徒」講座や社会問題の解決を話し合う「月1映画・おしゃべり会」をあわせて開催する。 ①講師謝金、映画上映権利料、チラシ印刷費、会場使用料等	476	345	新型コロナ感染症拡大により、事業の一部中止があったものの多くの参加者を得ることができた。複数回参加している方が多く、継続していくことで更なる定着が期待できる。

番号	事業名	事業主体	事業内容 (①ソフト事業、②ハード事業)	総事業費 (千円)	支援金 交付額 (千円)	講評
<b>4 安全・安心な地域づくりに関する事業</b>						
29	2021減災ナースながの地域防災事業	減災ナースながの(長野市)	地域で暮らす看護師が専門性を活かし、地域と連携をはかり、地域防災の向上を目的に、「災害時住民支えあいマップ」に看護師視点を加えた減災ナース版マップの作成や、地域・学校に向けた医療的ケア時の災害時マニュアル案の作成、地域住民や子ども、医療専門職事業を対象とした避難訓練の実施等を行う。あわせて、避難訓練の結果を受けてのマニュアル案のブラッシュアップや活動報告会も実施する。 ①講師謝金、会場使用料、業務委託費、発電機レンタル費等	1,084	840	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業が中止となったものの、避難訓練の実施を通じて、実践的な取組となった。作成した個別対応マニュアル案のブラッシュアップ、活用など今後の取組に期待したい。
30	学生連携による被災地復興支援と地域防災事業	被災地を写真でつなぐ実行委員会(小布施町)	町内外の学生に向けて復興支援活動ボランティアを募集し、活動を通しての意見交流会を開催するとともに、AEDや見学会、ワークショップ等のカリキュラムを備えた研修会も開催し、学生や若者が防災活動でつながることのできる場を整備することで、地域防災を担う人材を育成する。 ①講師謝金、印刷費、施設利用料、備品購入費等 ②備品購入費	545	429	災害復興という課題に対して、学生が関わりを持ち、意見交換や地域住民との交流を通して、防災意識を高める取組となった。また、防災意識を学ぶ「学生防災リーダー」養成事業を行い、主体的な防災活動ができる人材の育成を行うなど、概ね計画通りに実施できた。
<b>5 環境保全、景観形成に関する事業</b>						
31	ゼロカーボン長野プログラム	特定非営利活動法人CO2バンク推進機構(長野市)	長野駅善光寺口駅前広場に地域ボランティアとともに緑化スペースを設けて社会実験に取り組むグリーンインフラ体験活動や、エムウェブでの大規模なゼロカーボンイベントの開催を通じて、地域住民や団体がゼロカーボンの考え方を知り楽しみながら実践する場を設けることでゼロカーボンの普及啓発を推進する。 ①植栽スペース設置委託費、会場使用料、印刷費、広告宣伝費	2,681	2,066	長野駅前で行った「グリーンインフラ体験活動」では、社会実験を通じてゼロカーボンに対する市民の興味・関心を誘引することで学びや普及啓発につなげることができたと思われる。「ゼロカーボンさみっと2021」ではエコマラソンや体験講座等、多角的なアプローチでゼロカーボンの普及啓発を行うとともに、コロナ禍にも柔軟に対応してYoutube等を通じた情報発信も実施する等、工夫がみられた。
32	白鳥園協働の公園づくりプロジェクト3	白鳥園協働の公園づくり実行委員会(千曲市)	将来的に市民自らが白鳥園の花と緑の管理を行えるように、担い手づくりを目的とした園芸教室を複数回開催するほか、令和2年度に引き続き白鳥園を一体として花と緑の公園とするための植樹や日本庭園の復活を行うとともに、手入れした公園の活用可能性を探るための実験イベントである「日本庭園と岡本太郎オブジェとお茶を楽しむイベント」を開催する。また、今後の白鳥園の活用を含めた設計を描くための協働の公園づくり研究会も継続して開催する。 ①講師謝金、備品購入費、苗木代等 ②園路整備費	2,089	1,508	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、実行委員会が中心となって地域住民と市の協働により、公園整備と交流事業を展開した。継続的な管理体制の構築と担い手づくりを進める取組を通して、活力ある協働のまちづくりに大いに寄与したと期待される。今後の継続的な取組に期待したい。
33	ゼロカーボンチャレンジby戸倉上山田III ITプロジェクト	戸倉上山田商工会(千曲市)	地域におけるゼロカーボンへの理解を深めるため、市内各製造業者の技術ノウハウを結集し作り上げたクリーンな電気自動車をさらに改良し展示するとともに、市内事業者がそれぞれゼロカーボンに向けて取り組んだ成果を発表・展示する地域を巻き込んだゼロカーボンイベントを開催する。 ①印刷費、EV車両改造整備費、会場使用料等	1,259	892	戸倉上山田商工会が動機づけを行い、地域内の各企業が取組を進め、さらに地域住民の興味・関心を誘引することで、地域全体として二酸化炭素の排出抑制を目指す取組につながったと期待される。今後ますますゼロカーボンへの取組を求められる中で、企業の評価やイメージアップにもつながるため、継続した取組が期待される。
<b>6 (ア) 産業振興、雇用拡大に関する事業(特色ある観光地づくり)</b>						
34	eバイクを使った鬼無里観光まちづくり事業	鬼無里観光振興会(長野市)	鬼無里地域における観光の新たな切り口としてeバイクに着目し、「鬼女紅葉伝説ゆかりの地をめぐるコース」づくりや、レンタル用Eバイク及びサイクルスタンドの整備を行い、地域内外に広く発信することで観光誘客や地域活性化を図る。 ①運営委託費、備品・消耗品購入費、印刷費等 ②eバイク購入費、格納庫設置費	1,444	1,023	地域を巻き込んだ取組により鬼無里地区の新たな魅力発見につながった。また、地球にやさしい木製スタンドの製作を行い、脱炭素への啓発につながる取組となった。しかし、コロナの影響もあり利用者が目標人数に比べかなり少なかったことから、今後の周知が課題となっている。
35	戸隠地区ユニバーサルツーリズム推進事業2021	一般社団法人戸隠観光協会(長野市)	戸隠地域が、誰もが安心して訪れることのできる国際基準の観光地となるよう、各種取組を実施する事業。令和3年度は、引き続きインバウンドや車いすの方への対応として案内板やHPの整備を図るとともに、より周遊しやすい交通手段としてeバイクに焦点を当て、サイクリングルートの開拓やマップの作成等を実施し、アフターコロナを見据えた観光誘客を推進する。 ①ホームページ改修費、eバイク整備費、ルート開拓調査費等 ②案内標識作成費、eバイク購入費	4,010	2,844	アフターコロナを見据えた外国人観光客等に対応した環境整備、情報発信や人材育成について概ね計画どおり実施された。今後は、作成した英語版ホームページの閲覧数を増やすなど、誘客に繋げる取組に期待したい。
36	ジビエ体験等通じた移住促進事業	公益社団法人長野青年会議所(長野市)	ジビエ体験料理教室を実施し、広く長野地域やジビエの魅力や、またワーケーションを実践されている方による講演会を開催し、長野地域への移住に関心が高い層にアプローチすることで移住・交流増の促進を図る事業。 ①材料費、広告宣伝費、会場使用料、講師謝金等	2,802	2,005	地元の料理店がジビエを活用した創意工夫をこらした料理を親子で料理することを通じて、ジビエの魅力を体験し、信州の自然を再確認する機会となった。また、移住者による講演会の開催によって、関係・交流人口増加の一助となりうる取組となった。長野地域の魅力発信に大いに寄与したと期待される。
37	外国人旅行者向けの観光ルート開拓事業	善光寺イルミネーション実行委員会(長野市)	冬期間の観光誘客が課題となっている善光寺界隈・松代地区において、外国人旅行者を呼び込み、賑わいを創出することを目的に、既にインバウンドに成功している近隣自治体からの周遊ルートの開拓(モニターツアーの実施)や、地域住民や観光関係団体に対するおもてなし講座の開催などを実施する。 ①モニターツアー委託費、印刷費、講師謝金、会場使用料等	1,361	1,088	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業が縮小となったものの、モニターツアーの実施により、外国人旅行者の受け入れ態勢の構築等に寄与したと考えられる、今後の誘客に繋げることが期待される。
38	臥竜公園一帯を活用したアウトドアイベントによる防災・観光・定住等の複合的的事业	アウトドアライフスタイル推進協議会(須坂市)	臥竜公園百々川緑地を会場に、防災キャンプやアクティビティ、ワークショップ、マルシェ等、それぞれテーマごとのエリアを設け、市内外の来場者・出店者が様々な形で交流するイベントを開催し、台風時などの災害時への対応や、環境問題などの課題に対し、アウトドアを通じた取組を行う。また、イベント前後での店舗への誘客・販売促進を狙うための施策として、オンラインスタンプラリーイベントもあわせて開催する。 ①イベント運営委託費、WEBサイト構築費等	7,968	6,282	防災キャンプやアウトドアフェスティバルの開催を通じて、令和元年東日本台風災害での経験だけでなく、実践的な学びを提供した。このことは、地域の防災力向上に資する取組となったと評価できる。また、地元住民も多く運営に参画することで地域での広がりも見られ、概ね計画通りの取組となった。
39	地域密着型交通システム(シェアサイクル)の構築支援事業	千曲市	観光客及び地域住民の新たな交通手段、また脱炭素地域づくりを進めるツールとして「シェアサイクル」に着目し、市内の5拠点に電動アシスト付きシェアサイクルを設置して効果を検証する社会実験を行う。また、利用者の周遊を促す仕組みづくりとして「立ち寄りスポット」等を掲載したリーフレットも作成する。上田市でも同様の社会実験を行い、地域を跨いだ広域観光や広域周遊の可能性を検証する。 ①運営委託料、印刷費、給電ラック設置工事費	6,000	4,324	二次交通としての新たなツールとしてのシェアサイクル活用の先駆的な取組となった。関係団体と連携し利用促進の取組も行い、新聞や各種メディアに取上げられたことで、地域内外に広く取組を発信することができた。上田市と共同で取り組む広域的な取組ともなっており、今回の社会実験の結果を踏まえた今後の取組に期待したい。
<b>6 (イ) 産業振興、雇用拡大に関する事業(農業の振興と農山村づくり)</b>						
40	ソルガムコンソーシアム事業	信州ソルガム普及促進コンソーシアム(長野市)	省力栽培、エネルギー化等、あらゆる可能性を持つ作物である「ソルガム」のさらなる研究、認知向上、発信を通して、ゼロカーボン社会の推進や地域活性化を図るため、産学官が連携するコンソーシアムを構築するとともに、ソルガムの商品活用等のための研究委託やPRイベントを開催し、ソルガムの可能性を広く発信する。 ①イベント出張費、研究委託費等	1,462	1,011	新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、研究やレシピ考案、動画の作成等、実施の方法を工夫しながら多角的な観点からソルガムの普及を進めた。長野地域においてソルガムの普及が進むことにより、地域全体におけるゼロカーボンの推進にも大きく寄与すると考えられる。
41	いっぴなシードルガーデン2021	いっぴなシードルガーデン実行委員会(飯綱町)	飯綱町のりんごやシードルの魅力発信やファンの増加、地域活性化を目的として、長野県産シードルの飲み比べ試飲会やりんご畑でスイーツやシードルを楽しむ「りんごのお花見ピクニック」、オンラインでのシードルセミナーや醸造所見学会等、様々な企画を行う「いっぴなシードルガーデン」を開催する。 ①プロモーション・運営委託費	2,398	1,850	オンラインを活用した長野県産シードルのPRにより、県内外に対して広く認知度向上や興味関心の誘引を図るとともに、スタンプラリー等、実際にシードルを購入して楽しむ仕組みを構築することで普及発信につながったと考えられる。

番号	事業名	事業主体	事業内容 (①ソフト事業、②ハード事業)	総事業費 (千円)	支援金 交付額 (千円)	講評
<b>6 (エ) 産業振興、雇用拡大に関する事業 (商業の振興に関する事業)</b>						
42	信州須坂 健康ス ムージーを通じたま ちのにぎわいづくり 2021	信州須坂健康 スムージー推 進協議会 (須坂市)	スタンプラリー形式で健康スムージーの提供店舗を回る取組や、須坂創成 高校や地元観光協会等との連携による野菜・果物を使用した様々なミニイ ベントの実施のほか、銀座NAGANOにおける健康スムージーの認知度 向上、販路開拓を目的としたイベント等を開催する。また、「マタニティ セミナー」の中でスムージーを取り入れたマタニティレシピを紹介し、妊 婦を含む若者の健康意識の向上や食生活の改善を図る。 ①印刷製本費、広告費、材料費等	633	400	地元須坂の農産物を活用した健康スムージーの認知度 向上事業と健康意識向上事業ともに概ね計画通りに実 施された。新型コロナウイルス感染症の拡大により事 業の一部変更することになったが、作成したレシピ動 画により、市内外への認知度向上と販路拡大に寄与し たと考えられる。
<b>6 (オ) 産業振興、雇用拡大に関する事業 (その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業)</b>						
43	北信エリア 地元産 酒類のツーリズム資 源化推進事業	北信エリア 地元産酒類の ツーリズム資 源化推進実行 委員会 (長野市)	北信濃の日本酒、酒蔵の魅力を県内外の幅広い世代に向けてPRするた め、タレント等が地域の酒、食、観光や土産などについて一体的に紹介す る「北ながの 酒蔵 オープンデー」をYoutube LIVEで配信し、新たな ファンの獲得やアフターコロナの観光誘客及び地域活性化を促す。 ①印刷費、YoutubeLIVE配信費用、イベント出展料、広告宣伝費等	5,600	4,406	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント事業 が変更となったものの、昨年度の内容をより発展さ せ、日本酒そのものだけでなく「食」との相性(ペア リング)を紹介する等内容の充実が図られ、おおむね 計画どおりに実施された。
44	鬼土間 (oni-doma) プロジェクト	鬼無里地区住 民自治協議会 (長野市)	旧鬼無里中学校の特別教室棟をワークスペースとして試行的に活用するほ か、鬼無里内以外の参加者がテーマに沿って鬼無里について語り合う「鬼 土間サイエンスカフェ」や、鬼土間を語らいの場とするきっかけづくりの ための「おすそ分け食堂」の開催、交流人口増・地域課題の解決に向けた 高等教育機関と連携した取組などを通じて、鬼無里地区の地域活性化を推 進する。 ①謝金、印刷費、消耗品費、備品購入費等	1,515	1,212	人口減少と高齢化が進む中で、地域住民を巻き込み、 鬼土間(旧鬼無里中学校特別教室棟)を活用し伝統・ 文化・暮らしの継承・里山保全など様々なテーマによ る取組を行うことで、交流人口の創出、鬼無里の魅力 の発見や地域活力の向上に大きく寄与したと考えられ る。また、高等教育機関と連携することで継続的な取 組に発展した。情報誌やホームページでの情報発信に 加え、たびたび新聞に取り上げられるなど、広く活動 を伝えることができた。
45	須坂を再発見! 須坂 産フルーツスイーツ 発信事業	須坂市観光協 会 (須坂市)	須坂産フルーツを活用したスイーツの開発・販売により、新たな地域資源 のブランド力向上や市内小売店舗等の収益増やまちのにぎわい創出を図 る。あわせて、須坂産フルーツ・観光・商業を一体的にPRするパンフ レットを作成・配布するほか、スタンプラリーや体験イベント、イベント 出展やプロモーション等も幅広く実施する。 ①印刷費、取材費、広告宣伝費、イベント出展費用等	3,742	2,649	須坂産のフルーツやスイーツを題材とした冊子の作製 や、スタンプラリーの実施を通じて、須坂産のフルー ツ、スイーツの認知度向上が図られた。イベントでは 計画を上回る集客があった。また、体験企画の実施に より、須坂産のフルーツをより身近に感じ、愛着が湧 ききっかけ作りができたと思われる。さらに、JAなど の各種団体との連携による活動もあった。
46	須高地域サイクル ツーリズム受入整備 事業	須高地域広域 観光協議会 (須坂市)	広域観光や二次交通の手段としても有効であり、かつ環境的にも健康増進 的にも優れているeバイクを切り口にしたサイクルツーリズムを展開し、 サイクリングルートの制作やシステム整備を図ることで、観光客や地域住 民の快適な市内周遊を促し、須坂市の観光推進を図るとともに新たな魅力 について広く発信する。HP及びSNSの強化やサイクリングデジタルナビの 導入、体験試乗会やモニターツアー等も実施する。 ①ホームページ改修費、サイクリングナビ導入費、eバイクレンタル費	1,712	1,326	サイクルツーリズムをより進めるため、機材の整備や 地域を巻き込んだコンテンツ作りが実施されており、 大いに評価できる。今後は、よりの取り組みを深化 させ、須高地域におけるサイクルツーリズムがより盛 んになっていくような継続的な取組が必要である。
47	モノづくりのまち坂 城魅力発信事業	公益財団法人 さかきテクノ センター (坂城町)	産学官民が一体となって若い世代の郷学郷就やUIJターン就業を促進す るため、「2021さかきモノづくり展」を開催するとともに、オンライン配 信を行い、坂城町のものづくりの魅力について町内外に広く発信する。ま た、町と連携協定を結んでいる大学をはじめ、県内の大学を対象としたリ クルートへの足掛かりとする「坂城町web企業説明会」や「ものづくり展 企業見学会」等をオンラインで実施する。 ①会場設営費、広告宣伝費	7,948	5,028	メイン事業の「2021さかきモノづくり展」は、新型コ ロナウイルスの影響により急遽オンラインのみの実施 となったものの、2,000名以上の参加がみられるなど、 町内企業の高い技術力とゼロカーボンやSDGsへの取組 等のPRIに大きな効果があった。また、地元中高校性等 との連携により、次代を担う人材育成、モノづくりの 町の浸透や郷土の誇りを育むとともに、UIJターンの促 進につながったと考えられる。町や地元商工会等、地 域全体で取り組み、地元商工会等の評価も高く、坂城 町の工業発展、継承につながる事業となった。
<b>8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業</b>						
48	長野地域子ども元気 プロジェクト事業 (復興支援とオシゴ ト体験)	長野広域連合 (長野市)	地域の子どもたちに被災地農家から災害～復興に関わる話を聞きながら農 作業に取り組んでもらうとともに、その農産物をプロスポーツチームの ホームゲームで販売する「オシゴト体験」を通じて、令和元年東日本台風 災害の復興支援及び地域の活性化につなげる。 ①業務委託費	2,099	1,679	今回の体験を通して台風災害を身近なものと感じ、理 解を深めることができた。また、防災意識を高めたこ とや地域の方々の交流により、地域愛を育むことが できた。新聞や各種メディアに取上げられたことで、 地域内外の多くの住民に取組を発信することができ た。
49	がんばろう NAGANO2021復興祈念 事業	いまこそ応援 「がんばろう NAGANO2021」 実行委員会 (長野市)	令和元年東日本台風災害からの復旧・復興に向けて被災地の団体や事業 者、次世代を担う若者、行政等が協働して地域経済の活性化につながる取 組を行うことで、復興支援を図るとともに産業振興と観光需要の発掘につ なげる事業。被災地物産展の開催や、学生と連携した被災地の素材を活用 した商品開発、また、「被災地の今」を地域の様々な魅力とともに発信す るパンフレット及びそれに連動したスマートフォンサイトによる地域周遊 の仕組みづくりなどを実施する。 ①業務委託費	7,087	3,087	様々な団体や学生と協働で復興を通じた地域活性化に 資する様々な取組を行うことにより、被災地に活力 を取り戻す一助となったと見られる。また、取組に よる情報発信のほか、メディア取材等、あらゆる媒体 から発信を行うことで、地域内外の多くの住民に復興 状況を伝えることができた。
50	365日大学 第2期	365日大学 (長野市)	フレイル予防やサキベジに関する学習会など各種講座や、会員による講座 をオンラインで開催するほか、農業支援やグリーンツーリズム、会員の人 生をまとめた冊子の制作やPRを行いシニアの生きがいを推進す る。令和3年度は新たに、脱炭素農業の推進や啓蒙セミナー、小学生を対 象とした脱炭素アイデアコンテスト等の脱炭素社会に向けた活動を会員を 巻き込んで実施する。 ①会場使用料、講師謝金、チラシ作成費、広告宣伝費等	3,740	2,991	昨年度に引き続きシニアの生きがいを通じて地域 を元気にする取組を、耕作放棄地の解消や健康増 進、脱炭素社会の推進を取り入れながら発展的に実施 した。実施により、本の出版やラジオ出演、各種メ ディアに取り上げられる等、地域への影響も大きいと 考えられる。
51	ワーケーションまち づくり事業	(株)ふろしき や (千曲市)	千曲市のワーケーションを推進するために、Maasを活用したワーケーシ ョン体験の利便性を向上させるシステムの開発・構築を、市内店舗や事業者 と連携しながら行うとともに、開発システムを活用して誘客を図る「ワー ケーションスペシャルデイズ」を開催する。千曲市がワーケーション先進 地のスーパーシティーとなることを目指し、来訪者に地域の魅力をPRす るとともに、観光誘客効果で地域経済の活性化を図る。 ①システム構築費、イベント開催費、広報宣伝費 ②備品購入費	14,769	8,499	ワーケーションウェルカムデイズを年間5回開催し、 ワーケーションの促進を行いながら地域の受入れ態勢 整備や課題抽出を重ね、ワーケーションを中心とした まちづくりを行った。Maasのシステム開発において は、ハード面の課題もあるが日常的な利用に向けた取 組みが期待される。たびたび新聞や各種メディアに取 上げられたことで、地域内外に取組を発信することが でき、地域活性化に大いに寄与したと見られる。
52	「ちくま未来戦略研 究機構」による「ま ちづくり・ひとづく り」ジャンプ編	(一社)ちく ま未来戦略研 究機構 (千曲市)	令和元年度に整備した拠点をベースに、地域の未来戦略について毎回市内 外からのゲストを招いたトークセッションを開催するほか、市民の学びの 場として「ちくま未来塾」や「市民学び塾」の開催、地域の魅力を再発見 し学ぶ「ちくま検定」の開催等、市民の各層を対象とした様々な取組を行 う。あわせて、「ちくま未来新聞」の発行を通じてまちの情報提供やシ ティプロモーションを実施する。 ①会場使用料、講師謝金、チラシ印刷費、テキスト印刷費等	3,826	2,813	地域住民が主体となり、地域人材を活用したまちづく り、ひとづくり事業に取り組んだ。地域の課題に対し 講座・勉強会の開催、子供学習支援・未来教室の開催 や新聞製作・SNS等による情報発信など独自のアプロ ーチにより解決に向け様々な事業を展開した。まちづく りへの関心を高め、市民の主体的な参加を促すきっか けとなり、地域活性化に大いに寄与したと見られる。